



「上様」「母上様」の「上」って、どんな意味なの

「上」は、尊敬の気持ちを表すことば

少し古い時代の文書や歴史小説などに、「母上様」とか「父上様」といういい方がよく出てきますね。

「母上様」「父上様」のほかに、「兄上様」「姉上様」ともいいます。また、親戚のおじさんやおばさんには、「伯父（叔父）上様」「伯母（叔母）上様」といいます。

「上」というのは、尊敬の気持ちを表すことばなのです。古いい方で、現在ではあまり使いませんが、手紙や改まった場合などに使う人もいます。

領収書に書かれる「上様」

何かものを買って、領収書をもらうとき、自分の名前のかわりに「上様」と書いてもらうことがありますね。「上様」は、ふつう「うえさま」と読みますが、「上」を「じょう」と読んで、「じょうさま」ともいいます。

この「上様」というのは、もともと、天皇や将軍など、高貴な人に対する、尊敬の気持ちを表すことばなのです。「上様」というほかに、天皇や将軍を「おかみ」ともいいました。

領収書の「上様」は、この「上様」という相手を敬うことばを、取り入れたものなのです。

（監修・田代 脩）

